

75歳以上の方へ

敬老祝金 のお知らせ

町では、毎年9月に満75歳以上の方に対し、敬老と長寿を祝福し、福祉向上に寄与することを目的とする敬老祝金を給付しています。

対象となる方は、9月1日現在で、引き続き1年以上寄居町に住所を有する、年齢が満75歳以上の方となります。

祝金の給付金額は、次の表のとおりです。

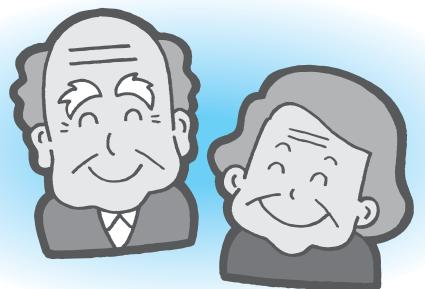
満75歳から満79歳までの方 (昭和5年9月3日～昭和10年9月2日までに生まれた方)	5,000円
満80歳から満84歳までの方 (大正14年9月3日～昭和5年9月2日までに生まれた方)	7,000円
満85歳以上の方 (大正14年9月2日以前に生まれた方)	10,000円

給付方法は、安全確保の観点から、金融機関口座への振り込みとなります。本年度から新たに対象となる方については、7月23日(金)までに口座振替依頼書を郵送しますので、ご返送いただくか、直接健康福祉課へ提出してください。

また、既に給付対象となっている方で、振り込み先を変更したい場合は、口座振替依頼書を再度提出する必要がありますので、ご連絡ください。

なお、振り込みは、9月中を予定していますが、提出書類の不備等がありますと、10月以降の振り込みとなりますので、ご了承ください。

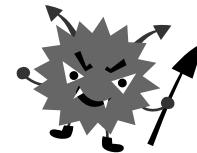
問い合わせ／健康福祉課(☎581・2121内線123、124)へ。



カンピロバクターや腸管出血性大腸菌O157による食中毒に気をつけましょう！

暑い時期は、細菌による食中毒が多発する傾向にあります。なかでも、カンピロバクターによるものは発生件数が多く、また、腸管出血性大腸菌O157によるものは患者が重症化することもあり、特に注意が必要です。

食中毒予防の3原則を踏まえ、正しい知識を持って食中毒を予防しましょう。



■食中毒予防3原則

- ①細菌を付けない。
- ②細菌を増やさない。
- ③細菌を退治する（殺菌をする）。

■カンピロバクターや腸管出血性大腸菌O157による食中毒の原因となる主な食品

- ①「生食用」の表示がない生肉やレバー。
- ②生肉に汚染された食品。特に、サラダなど加熱しないで提供する食品は、注意が必要です。
- ③加熱が不十分な肉。

■予防の注意点

- ①生肉やレバーは中心部まで十分に加熱してから食べてください。特に、結着等の加工処理を行った肉は加熱を徹底してください。
- ②包丁・まな板・はしなどは、汚染を防止するため、用途に応じて使い分けてください。特に、家庭での鉄板焼き、屋外でのバーベキューおよびセルフ形式の焼き肉店において、自身で生肉を加熱調理する場合は、生肉を扱う専用のトングなどを使ってください。
- ③「生食用」の表示がない生肉やレバーを生で食べることはやめましょう。また、子どもや高齢者などの比較的抵抗力の弱い方は、肉の生食を控えた方が安心です。

問い合わせ／熊谷保健所(☎523・2811)へ。

農薬危害防止運動期間中です！ 農薬は適正に使用し、事故を防止しましょう

○状況に応じた適切な防除を

病害虫や被害発生の早期発見に努め、発生状況に応じた適切な防除を行いましょう。

病害虫が発生していないのに、定期的に農薬を散布するのはやめましょう。

○農薬を使用しない方法を

害虫を捕殺する、被害を受けた枝や葉を切り取る、虫が寄りつかないように網をかけるなど、農薬を使わなくてもできる防除を優先して行いましょう。

○やむを得ず農薬を使用するときは

農薬のラベルや袋に表示されている使用基準や使用上の注意事項を必ず確認してから使いましょう。

○農薬散布は最大限の配慮と細心の注意を

農薬の散布区域は最小限の範囲にとどめましょう。また、無風か風が弱い時、早朝に行うなど、天候や時間帯を選んで行いましょう。

○事前に十分な周知を

農薬を散布するときは、散布日時や使用する農薬などを、あらかじめ、周囲に住んでいる方や近くを通行する人に看板などで十分伝えましょう。近隣に学校や通学路がある場合は、学校や保護者にも周知してください。

また、散布中や散布後も看板等を配置して、散布区域に関係者以外の人が立ち入らないようにしましょう。

問い合わせ／埼玉県保健医療部薬務課薬物対策担当(☎048・830・3633)、埼玉県農林部農産物安全課農薬・植物防疫担当(☎048・830・4053)、熊谷保健所(☎523・2811)、または産業振興課(☎581・2121内線402)へ。

散布中です

寄居FC2001サッカースポーツ少年団 全日本サッカー大会(U-10)埼玉県大会出場！

6月13日に第34回全日本サッカー大会(U-10)埼玉県大会が、埼玉スタジアム2002第3グラウンドで行われ、寄居FC2001サッカースポーツ少年団(志村英明団長)が出場しました。寄居FCチームは、リーグ戦3試合を行い、1勝2敗の成績でした。キャプテンの増田玲央君(寄居小4年・中町)は、「グラウンドの芝がふわふわでじゅうたんのようでした。また、このグラウンドで試合ができるように、がんばって練習していきたいと思います」と笑顔で話してくれました。



寄居町発祥のスポーツ マイルドバレーボール大会開催！

町では、6月13日に総合体育館・アタゴ記念館で「第26回寄居町マイルドバレー親善大会」を開催しました。

当日は17チームが参加し、熱戦を繰り広げました。参加チームの選手は、「どのチームの試合もラリーが続き、日頃の成果が出せたと思います。楽しい1日を過ごすことができました」と話してくれました。

マイルドバレーは、健康で明るく豊かな町民生活を築くことを目的として昭和59年に町体育指導委員協議会の皆さんを中心となり、女性を対象として考案された、町発祥のスポーツです。

現在では、地域公民館事業として盛んに行われています。



池田恒文さん 関東体育指導委員協議会から表彰！

6月4日に熊谷市スポーツ・文化公園で行われた「平成22年度関東体育指導委員研究大会」において、町体育指導委員の池田恒文さん(用土5)が、関東体育指導委員協議会から表彰されました。

池田さんは、昭和56年から現在まで29年間にわたり町体育指導委員を務められ、町民の健康増進と体力向上に尽力した功績が高く評価されたものです。

池田さんは、表彰式当日、被表彰者を代表し謝辞を述べられました。また、「身に余る光栄です。この表彰を機に初心にかえり、これからも活動していきたいです」と話してくれました。

